

日本一のリサイクルのまちを目指して！ 70 ～「生ごみ」を減らして、「燃やすごみ」を軽くしましょう～

「生ごみ」の約80%は水分です。「生ごみ」に含まれる水分を減らすと、重さもぐんと軽くなり、ごみ出しが楽になります。また、腐敗や悪臭をおさえるほか、指定ごみ袋を買うお金も少なくて済みます。今回は、それらの方法についてご紹介します。

問合せ 資源リサイクル課(☎内線266)

1 食品ロスを減らしましょう

※「食品ロス」とは、まだ、食べられるにもかかわらず捨てられている食べ物のことです。

その1

賞味期限と消費期限の違いを知りましょう。

賞味期限:おいしく食べられる期限

※賞味期限を過ぎても食べられなくなるとは限りません。

消費期限:安全に食べられる期限

その2

冷蔵庫すっきりDAY ～チェック表や買い物メモでチェック～
冷蔵庫を週に一度チェック。食べ物が傷む前においしくいただきます。

その3

食べきりタイム

宴会やパーティーなどで、料理が残らないよう、料理をしっかり食べる時間を設けましょう。

買い物メモを作りました。

買い物のメモ	
野菜	
肉・魚	
その他	
日用品	

食べ物は感謝！必ず消費！

市のホームページからダウンロードして、ご利用ください。

2 生ごみの水切りをしましょう

水切りは、日々の子育てや仕事などで忙しい方でも手軽にかつ確実に減量できる方法です。



水切りネットを上手に使用



ティーパックなどはしぼってから



野菜などの皮は水にぬらさず直接ごみ袋へ

3 生ごみ処理容器を利用しましょう

生ごみ処理容器を使うと家庭で生ごみを有機肥料にしたり、水分を乾燥させて軽くしたりできます。



耳より情報 生ごみ処理容器購入費補助金をご利用ください。

対象

市内に住所を有する方(1世帯あたりの上限数は、コンポスト2基・電気式1基まで)

※過去5年以内に補助金の交付を受けている場合は対象外

補助金の上限額

コンポスト 4,000円/基 電気式 40,000円/基

生ごみでお庭の土を
ふかふかのいい土に！



市では、生ごみ処理機の処理後のごみやコンポストを使用した、たい肥づくりのチラシを、本庁舎資源リサイクル課または、各総合支所地域振興課の窓口で配布しています。市のホームページでも、ご覧いただけます。